

# 潮寿荘

# だより



吉田ミサヲ

平成29年4月16日発行  
 発行：特別養護老人ホーム  
**潮 寿 荘**  
 記事：4月担当潮寿荘職員  
 編集：潮寿荘だより編集委員  
 題字：吉田ミサヲ(97歳)

祝 潮寿荘開荘29年

## 肉炒飯に秘められた謎

「炒飯」この日本人の舌に慣れ親しんだ料理を辞書で引くと(中国料理で、豚肉・卵・野菜などをまぜて油で炒め、塩や醤油で味付けした飯。焼き飯。)とあります。平成29年4月1日の潮寿荘での昼食で提供された料理がこの炒飯。いや正確には肉炒飯であります。「はいどうぞ、今日の昼食は炒飯ですよ」とお膳を皆さんに配膳する職員。その炒飯を美味しそうに頬張る利用者さん。いつもの潮寿荘のいつもの食事風景。しかしこの炒飯に、いや肉炒飯に隠された秘密と想いを知る者は限られたごく一部の人間だけでした。奇しくもこの日、4月1日は潮寿荘の開荘記念日。この日で29年目を迎えたのです。

そこでなんと、この29周年にちなみ、29→二、九→にく↓肉……で、肉炒飯であります。数ある肉料理のなかで、なぜあえての肉炒飯なのか。私、考えました。炒飯は中華料理。中華と言えば四千年の歴史。そうこれは正に中華四千年と潮寿荘29年の見事な超絶絶縁のコラボではないでしょうか、皆さん。この秘められた想いを利用者さんに告げると「そうなの。美味しかったよ」と冷静に(福)節子さん。説明半ばで「すごく美味しかったよ」と笑顔で話す(宮)キヨさん。結局食事は美味しく、楽しく食べて頂ければ全てよしと実感した今日この頃なのでした。(ピラフよりやっぱ炒飯が好きな介護士・内村)

♪肉炒飯の二クは29年の肉ですが、炒飯は「土曜」飯物の日」だったからという単純な理由でした。。。



## 29年度行事予定

- 4/8 花まつり(終了済)
- 5/10 花見
- 7/7 七夕まつり
- 7/29 夏祭り
- 8/9 共同墓碑参り
- 9/15 敬老会
- 10/4 お月見
- 10/10~11 一泊旅行(日程変更有)
- 11/2 運動会(日程変更有)
- 12/23 クリスマス会
- 12/27 もちつき
- 1/1 初詣
- 1/10 新年会
- 2/3 節分
- 3/3 ひな祭り

参加者の1人キミ子さん



今回は花クラブについてご紹介し、先生が来て下さっています。参加者はお花好きな9名。その中の久美子さん「何という花ですか?」と聞く。と菊、チューリップ、カーネーションはぱっと答えてくれるのですが、



それ以外は「うっくん、解らないなあ、外国の花だからなあ」と、日本の花でも外国の花になってしまいました。(佐)節子さんは、昔習っていたので、ゆっくりとご自分のペースで生けており完成度が高いです。ユキエさんはご自分で生けることができるとは先生が来ると「わしは出来ないからやってみようんだ」とじっと待っています。3種類の花でも、9人居れば生け方も9通りで個性が出て面白いです。全員の生け花が終わった後、先生は玄関の花を生けます。それを見るのが楽しみな方たちは、熱心に最後まで見て、終わった後は「やあくキレイだね」と皆さん笑顔です。その様子を見ていつも、花にも皆さんの笑顔にも癒されるステキなクラブだなあとしみじみしています。(間違えて妹の夏タイヤを付けてしまった介護士・鈴木)



# おはぎバイキング

3月20日、春分の日。潮寿荘では恒例のおはぎバイキング。バイキングと言っても、あんこ、ごま、きなこのおはぎが代わり自由というもの。ふだん、自分ではごはんに手を付けない、(田)和子さん。「おはぎ」を持ってまわっている職員の顔をじつと見つめ何かを言いたい表情。食べますかの声がけに、「食べるよ!!!」



ホール中にひびく、やや怒り気味声の返事。お出しするとめったに開かない大きな口でパクリ。そして笑顔。また、おかす

は残さず食べるのにご飯は残す明子

# 2年目の潮寿荘

すっかり春らしくなってきました。私も潮寿荘で働いて2回目の冬を越すことができました。産業道路の渋滞、帰りのホワイトアウト、カーブの横滑り、家が遠いので何回も『もう無理かも...』と思いつつ春を迎えたところです。大変な思いをしながらも何とか勤務を続けられ

さんも、まだ口に入ってる状態で「私にもうっつ」とお代わりの声。しかし、お代わりを受け取ると「何で!?!」と大きな声。見に行くと、『まだお皿に入っているから』と、職員は取りあえず半分だけのせていました。すみません、とお詫びしました。少し怒ってしまった明子さんですが、なんとトータル10個以上も召し上がり大満足な様子でお昼ご飯を終えました。おはぎが人気なのかあんこが人気なのか解りませんが、どの入居者もたくさんお代わりされています。当日厨房ではあんこ194個、ごま108個、きなこ101個、合計403個を作ったとの事。厨房職員は大変だったかもしれませんがお腹いっぱいのおはぎに笑顔もいっぱいの日でした。(施設長が高級肉をごちそうしてくれると喜んでいる介護主任・小野)

るのは、やはり入居者さんの笑顔につきます。朝の元気な挨拶、そして冗談を交えながらの楽しい会話。そしてなんとと言っても、ここ潮寿荘は行事が多く、本当に楽しい『お正月遊びや初詣』から『餅つき』まで季節に合わせ沢山の行事が目白押しにあります。スタッフは何日も前から楽しんでもらえるよう一生懸命練習もしています。そしてその時の食事も豪華ですね。医務はあまりお手伝

# 少し辛口

キミ子さん

潮寿荘で、移乗介助を行うのに『リフト』や『ボード』という福祉機器を取り入れてから早いもので一年が経とうとしています。慣れるまでは大変でしたが、今では介助で持ち上げる動作をする事も減り、腰の負担も軽減されてきているところです。

そんな中、入居者の方も福祉機器の扱いが上達してきていて、キミさんはボードを差し込む時に、自ら身体を斜めにして、差し込んだ後には「1. 2. 3」と職員と一緒に大きなかけ声をかけて移乗終了。時には



いは出来ませんが、みんなとても頑張っています。去年の夏祭りの花火も圧巻でしたし、クリスマスも盛大でした。こんな施設は本当に珍しいとつくづく思っています。体力が続く限り今年も来年も参加したいなと思っています。そして入居者さんの笑顔が多くなるよう今後も楽しみにしていきたいと思っています。(密かにジャニーズのライブに

「1. 2」で移乗完了すること。とは言っても、全職員がボード使用に慣れたわけでもなく...ある職員が移乗後に「どうですか」と聞くと「へたくそ」ときっぱりとした返事が。職員はまだ慣れずキミさんの力を生かしきれなかった様子。今回はキミさんについてでしたが、今後ボードやリフトを使いこなし入居者、職員ともに上達したエピソードを報告していきたいと思っています。

(最近お酒の肴がないと嘆いている介護主任・小野)



# 5月よてい

3日 誕生会  
5日 子供の日  
バイキング  
10日 花見

→ 日曜日 14:00 から

28日 家族懇談会  
ぜひ参加して下さい  
特別喫茶(白玉餅)